

学校だより 9月号



新宿小だより



＜学校教育目標＞「思いやりのある子 進んで考え学び合う子 健康でたくましい子」

＜9月の生活目標＞「相手の目を見て、進んであいさつしよう」

〒355-0032 東松山市新宿町1-4 TEL 0493-23-1225 FAX 0493-23-1236 令和8年 9月 1日 (火)

安心・安全のための想像力

校長 稲葉 昌弘

本日、無事に2学期始業式を迎えることができました。夏季休業中子供たちは様々な思い出が作れたようです。今日みんなの元気な姿を見ることができて、とても嬉しく思います。

新宿小の子供たちの元気な姿は嬉しいのですが、今年の夏休みは全国で大きな自然災害がありました。令和8年7月28日16時27分に熊本県熊本地方でマグニチュード(M) 7.1(気象庁暫定値)の「令和8年熊本地震」が発生しました。熊本県では最大震度7を観測したようです。熊本では平成28年、約10年前にも大きな地震がありました。多くの方が被災し、いまだ大変な生活を余儀なくされている方が多くいる状況です。また、千葉県では8月13日からの豪雨により、河川の氾濫や家屋・車の水没など多くの被害が出てしまいました。13日には「レベル5土砂災害特別警報」が発表され冠水したアンダーパスで車が水没してしまったり、冠水や土砂崩れによりライフラインが断たれてしまったりしている地域がありました。一日でも早く復旧・復興ができることを願っています。

このような自然災害を目の当たりにすると、何か自分にできることはないかと考えます。被災地へのボランティア活動や募金などは思いつくのですが、教師・学校として何ができるかを考えてみました。そうすると、やはり子供たちへの安全教育の充実が必要だと思えます。学校では文部科学省による安全教育の目標を基準に、避難訓練や授業を通して、災害や事故、犯罪から自分自身の身を守る学習を行っています。日頃の訓練や学習から、実際自分の身に危険が迫った際に、訓練の経験や学習した知識・技能はとても役に立つ大切なものです。

さらに、子供たちには知識や技能だけでなく「安心・安全のための想像力」も身に付けてほしいと思っています。この「安心・安全のための想像力」という視点は様々な企業でも意識されていて、大人にとっても安心・安全に関わる大切な力です。例えば、JR東日本の安全に対する基本的な考え方に「チャレンジ・セーフティ運動(CS運動)」という取組があるそうです。社員一人ひとりが安全について考え、自律的に行動することをめざし、それぞれが情報を発信し、グループ全体で共有する。そのために以下の5つの文化を基にする行動を大切にしているそうです。

- ① 正しく報告する文化 ② 気づきの文化
- ③ 議論する文化 ④ 学習する文化
- ⑤ 行動する文化



この文化の醸成から、予兆を捉える感性や課題を見つけだす力を育てているようです。こういった内容は、学校で行う安全教育と同じ捉え方だと思います。学校でも安心・安全の想像力を養う文化(行動や考え方、価値観)を醸成していきたいと思えます。訓練の工夫や、安全に関する行動(廊下歩行や約束を守るなど)の徹底など、子供たちが自律的・主体的に行動できるよう指導していきたいと思えます。

9月1日は「防災の日」

9月1日は、「防災の日」です。今から102年前の1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災を忘れず、国民一人一人が災害についての知識を深め、これに対応する心構えを準備しようと制定されました。あらためて災害対策について話し合ってください。学校では、9月7日（月）に避難訓練を行います。

また、埼玉県では「イツモ防災」という取組をしています。日本に暮らすということは地震とともに生きていくということ。だからこそ、地震への備えを平常の生活と切り離して「特別なこと（モシモ）」として捉えるのではなく、「イツモ」

の生活の中で自然体で当たり前のこととして取り組むことが大切です。埼玉県では、イツモの備えを具体的に分かりやすく伝えていくことで、県民の皆さまが防災に取り組みやすい社会を目指しています。

※ 注意：「いつも防災のことばかり考える」のではなく、「いつもの活動が防災になっている」又は「(やりやすい方法を知ることで) 防災が取り組みやすくなっていく」ことを目指すものです。

夏休みの出来事

夏季休業中、先生たちは二学期の準備や研修・研究、学校保健委員会や地域の民生委員、主任児童委員さんとの話し合いなど、学期中はできない仕事をしています。その一部をご紹介します。

職員研修（算数）

今年度、学校全体で算数の研究をしています。夏季休業中に何回か研修の時間があったのですが、北村先生が「子供たちの考え方を大切にする」とことと「式を読むこと」の話をしてくれました。その中で、下記のような問題を先生方に考えてもらいました。さて、この式をかいた子供はどんな考えだったのでしょうか？

問題

$1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 = ?$
この計算を簡単に求める方法を考えましょう。

答え

- 児童 A 9×5 で、求められる。
児童 B $11 \times 4 + 1$ で、求められる。
児童 C $(1 + 9) \times 9 \div 2$ で、求められる。

さて、この3人はどう考えたのか説明できますか？

民生児童委員・主任児童委員連絡協議会

学校は地域の多くの皆様に、支えてもらっています。登下校時の見守り隊の方だけでなく、民生委員・主任児童委員さんの皆様にも子供たちの様子を見てもらっています。本校では年2回連絡協議会を行っています。いつもありがとうございます。



埼玉県には、大きな都市がある。
豊かな自然がある。
地元で働く人もいれば、県外で働く人もいる。
ひとり暮らしの人、家族と暮らす人。
じつにさまざまな人が、日々の暮らしを
育んでいます。多様な暮らしが揃う埼玉県。
だからこそ私たち全員が防災に取り組み
成果を出せば、それは日本中の防災の
お手本にもなる、と思うのです。
災害時の備えを、ふだんから家族や身近な人と
話し合う。準備する。それを続ける。
そうすることが当たり前になれば埼玉は、
いままで以上に人にやさしく、
いのちにやさしい街になる。
何があっても、住みやすい埼玉であるために。
ぜひあなたから「イツモ防災」、始めてください。
SAITAMA ITSUMO BO-SAI

学校保健委員会

学校保健委員会は年2回実施し、教職員・PTA・保護者の皆様に参加していただき、子供たちの体力テストの現状や健康状況について話し合いを行います。7月23日に今年度の第1回目が行われました。また講師として、学校歯科医の松本一真先生（レガールデンタルクリニック）にお越しいただき、「生まれ変わり期の歯と口の健康づくり」についての講話をしていただきました。虫歯だけでなく、噛み合わせ（歯列・咬合）の大切さがよく分かりました。小さい頃の指しゃぶりの様子から、こまめに見ていってあげるべきだなと思います。

- ・歯の生え変わり時期にはよく口腔内を観察し、乳歯の虫歯を放置せず、積極的な虫歯予防を行うことが大切です。
- ・歯科健診で要注意乳歯を指摘されたら、速やかに歯科医師に相談してください。

